

## まちの話題

3 / 10

### 日本海新聞ふるさと大賞2025 表彰式が行われました



スポーツ・文化功労賞の義仲さん(前列左)  
地域貢献賞の河四子供会(前列右1~5番目)

「日本海新聞ふるさと大賞」は、鳥取県内でスポーツや文化振興、地域発展に寄与した個人・団体を顕彰しています。

3月10日(火)にふるさと大賞2025の受賞式が行われ、地域貢献賞を河四子供会の皆さんが、スポーツ・文化功労賞を智頭中学校3年生の義仲輝大さんが受賞しました。

河四子供会の皆さんは、智頭駅前の植花や清掃などの美化活動を毎年継続して実施し、魅力ある地域づくりに貢献しました。

義仲さんは、鳥取県中学校総合体育大会水泳競技の部において、男子個人メドレー400mで優勝するなど顕著な成績を残しました。受賞者の皆さま、おめでとうございます。

3 / 15

### 恋山形駅にトイレが設置されました



多くの観光客が訪れることから設置を望む声が多くあった智頭急行恋山形駅のトイレが完成。3月15日(日)にお披露目式が執り行われました。

智頭急行株式会社では、このトイレの設置に向け「恋がかなう駅『恋山形駅』トイレ新設プロジェクト」を開始、この期間中に実施されたクラウドファンディングでは、目標を大きく上回る支援が集まったことから、新たなフォトスポットも整備されました。

また、クラウドファンディングネーミングライツコースにも応募があり、副駅名が「鉄道本舗」に決まりました。

3 / 17

### 智頭駅前どうだん広場に「CHIZU」モニュメントが設置されました



智頭駅前どうだん広場に「CHIZU」のアルファベットを表したモニュメントが設置され、除幕式が行われました。この設置は、インバウンド誘客の一環として(一社)智頭町観光協会が実施したもので、智頭町の特徴を表す木の質感で仕上げられています。

このようなモニュメントは、最近全国の様々なところで設置が相次いでおり、記念写真等の投稿がSNS上で流行しています。(一社)智頭町観光協会の河村実則専務理事は「記念写真を撮影するなど、智頭町内での滞在が思い出に残るよう、多くの人に利用して欲しい」とコメントしました。

## まちの話題

2 / 4

### おせっかい協賛企業のエスマートちづ店から智頭小学校に図書カードが寄附されました



2月4日(水)、エスマートちづ店から智頭小学校に、図書カードが寄附されました。

(株)エスマート(本社:鳥取市/NPO法人マルイ・エンゲージメントキャピタルグループ)では、店頭取扱商品の中から特定の商品を「寄附付商品」と定め、該当商品の購買があれば商品代金の一部を寄附金として蓄積し、店舗を構える自治体の学校などに寄附する、という活動をグループで行っています。今回智頭小学校への寄附は、その一環として行われました。

エスマートちづ店は、令和5年12月の開店以来、本町の「おせっかいのまちづくり」取組に賛同する「おせっかい協賛企業」として啓発活動などに取り組んでいます。今回は前年の寄附額61,000円分の倍以上である124,000円分が寄附されました。

寄附へとつなげるためには、本町在住者が専用のカードに登録し、買物時にカードを提示する必要があります。支払い方法は現金・カード・電子マネーなど、どの方法でも大丈夫です。また、対象商品は私たちにとって日頃なじみのある商品など多岐に渡り、店頭でも見つけやすいように、プライスカードに表示されています。



◀寄附につなげるためには、このカードの提示が必要です。

3 / 8

### 次期智頭町総合計画の策定に向けた町民ワークショップ開催



次期総合計画策定に向けた町民ワークショップを開催し、午前の部24人、午後の部34人が参加されました。人口減少や少子高齢化など課題が山積する中で、10年後の智頭町を見据え「暮らし」、「子育て・教育」、「地域」、「福祉」、「産業」の5つのテーマで「ホットエアバルーンを飛ばそう」というアクティビティを通じて、持続可能なまちを目指し、現在町が取り組む施策や事業について、その必要性や効果を検証し、継続すべきか見直すべきかなど、活発な意見交換が行われました。

参加者からは「今後も行政と民間が協働して町の未来を考える必要がある。機会があれば次回も参加したい」などの感想をいただきました。

今年度も、テーマごとのワークショップ開催を予定していますので、引き続き多くの参加やご意見をお待ちしています。

